

労働政策フォーラム

アンダークラス化する若年女性——労働と家庭からの排除

日時: 2013年7月13日(土) 13:30~17:30

場所: 東京国際交流館国際交流会議場

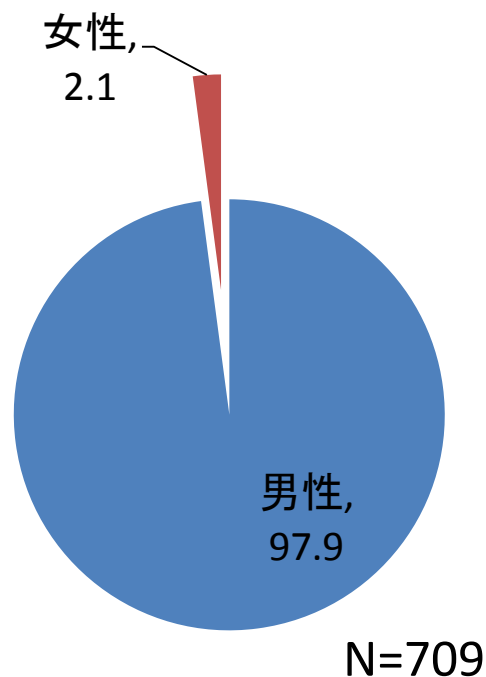
若年女性の貧困問題

山口恵子

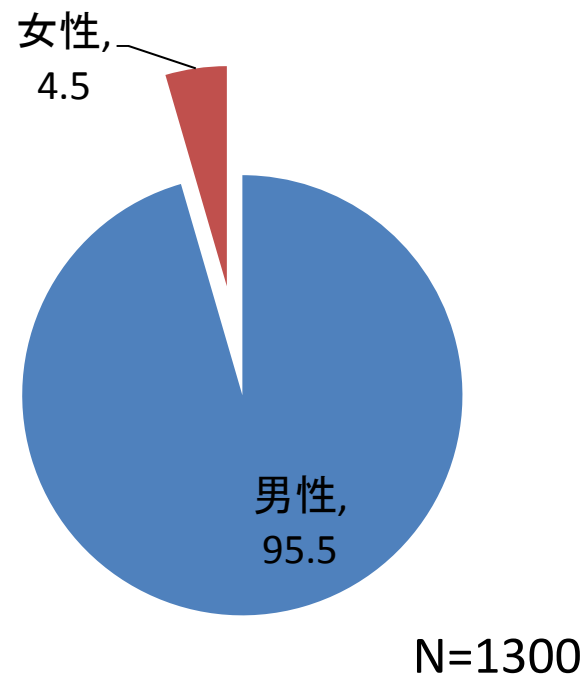
(東京学芸大学・人文社会科学系)

1 はじめに

野宿者は男性・・・？



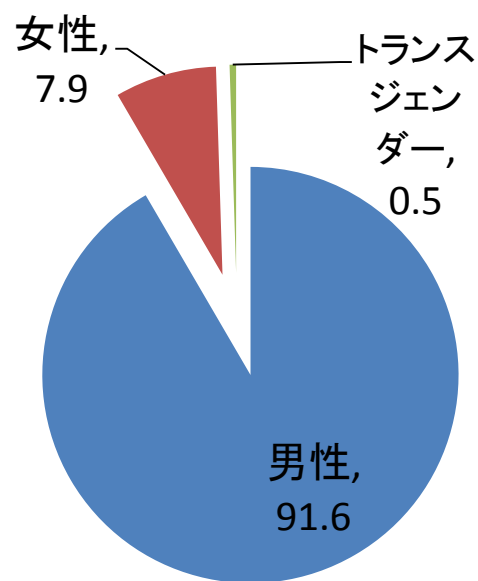
東京都における路上生活者
実態調査、2002
(都市生活研究会)



ホームレスの実態に関する
全国調査、2012
(厚生労働省)

住居の問題が生じたとき、私たちが関わってきた施設退所女性たちがよく口にしていたのは「男はホームレスになれる」という言葉だ(高橋2012)

生活困窮者支援組織への相談者



N=889

2009年7月～2010年9月の
相談者(もやい2011)

- 2009年7月～2010年9月の相談者
 - 平均年齢: 女42.3歳(男47.5歳)
 - 単身世帯: 女61.4%(男93.5%)
 - 現在野宿: 女5.9%(男49.9%)
女性は持家・賃貸70.6%
 - 女性は心身の調子が悪い人、とくに精神的な疾病・不調を抱えている人が多い(若い人ほど)

出典:(もやい2011)

女性は、路上生活になることへのリスクが大きいので、まだ所持金がある段階で来たり、友達や男性の家に居候していて、いられなくなりそうな段階で相談に来られる(M会)

- 報告の焦点
 - 女性の貧困・ホームレスの視点から
 - 彼女たちはどのような困難を抱えているのか？
 - 今後に向けて
- 資料
 - 首都圏の行政、社会福祉法人、NPO、個人ボランティアへの聞き取り(M、O、P、Q、R、S、T、U会)
 - 各種書籍、ホームページなど

* 貧困：経済的貧困、関係的貧困
ホームレス：安定的な住居の喪失状態(野宿のみならず)
- 目次
 - はじめに／多重の排除／ジェンダーによる排除／おわりに

2 多重の排除

事例1 Aさん(20歳)

- Aさんの母親は広島県出身。祖父母が働いていた造船業の景気が悪くなり、高校を卒業後、東京に働きに出てきた。妻子ある男性と関係を持ち、Aさんを出産するも、敬虔なクリスチャンであった実家から勘当。母親は「私は、特殊な技能も何もないので。地方の出身で、東京には何の身寄りもない」と、事務の仕事などでコツコツと働いた。
- 中学入り、パソコンを買ってあげると、Aさんはすぐに覚え、チャットにはまった。そのうち養護教諭がリストカットを見つける。母親は、「遅くなっても、辞めなさいっていてもパソコンから離れない」と思わずたたいてやめさせようとしたと言う。Aさんは母親からの虐待を訴え、夜、真冬なのに表に立たされる、食事を抜かされたと言う。
- 高校に入り、家を出ようと思っていた頃に、ネットで知り合った15歳近く年上の男性から声をかけられ、同棲した。しかし、暴力を受けたため、関係者が連携して脱出させた。彼女は罪悪感もあり、また撮影された写真をネットにばら撒くと脅されていた。シェルターを経て、母親の元に戻るも、再び家出。現在は風俗業で働きながら、都内のネットカフェなどを転々としていると予想される。発達障害と診断されている。

出典: ボランティアOさんの聞き取りより再構成

Aさんの事例から

- 世代を越えた貧困の再生産
- 母親は地方から上京、頼れる人が少ない
- 母親はしつけのつもり、Aさんは虐待と認識
- ネットで知り合った男性の元に家出、暴力
- 風俗業への吸引、家には戻らず
- 発達障害があることが後に判明

事例2 Bさん(30歳)

- Bさんは茨城県外で出生。2歳のときに里親に委託され、のち養子縁組が成立した。高校卒業後、里親宅を出ていたが、22歳の時に長女を妊娠し、里親宅に戻って長女を出産した。24歳の時に長女(2歳)を置いて里親宅を出る。
- 26歳の時に知り合った男性との間に長男を妊娠、男性の住む茨城県V市に移り、長男出産後、その男性と結婚。この頃は子どもの検診などは受けている。しかし夫が家賃を滞納したために転居、その後別居する。
- Bさんと長男は交際相手であるW市の男性宅に転居する。一時、長男を置いたまま帰らず、X市で働くが、男性宅に連れ戻される。そしてこのW市の男性とともにY村に転入。その後、Bさんと長男はZ市の男性宅へ転居し、子育て支援センターなども利用していた。しかし、妊娠に気付いて家を出る。X市にあるBさんの勤務先の寮に転居。途中、携帯サイトで知り合った他県の男性に会いに行き、援助を依頼したが断られる。
- Z市のホテルを転々とする。30歳のとき、Bさんは茨城県内のホテルで女兒を出産。ビニール袋に入れて口を結び、呼吸困難により窒息死させ、コインロッカーに入れた。Bさんは殺人罪と死体遺棄罪で起訴、懲役6年の実刑判決を受ける。
- 長男は母親逮捕後、児童養護施設に措置。

出典：(茨城県社会福祉審議会2013)より再構成

Bさんの事例から

- 幼少時より里親宅で成長、養子縁組も(のちに解消)
- 住まいが複数の市にわたり、かつ男性の元、勤務先の寮、ホテルなど転々
- 子どもの出産と男性との関係が移動を左右
- 子どもの検診や子育て支援センター等とのつながりはあったが、途中で切断

多重の排除

- **五重の排除と二重の追い打ち** (湯浅2008、荻上2012)
 - 教育課程から／企業福祉から／家族福祉から／公的福祉から／自分自身から
 - ジェンダーから／社会問題から
- **社会的排除の2つのパターン** (岩田2008)
 - 社会からの「引きはがし」
 - メインストリームに組み込まれていた人々が一気に定点を喪失するパターン
 - 社会への「中途半端な接合」
 - 社会の周縁部に長期にわたり留め置かれているパターン

3 ジェンダーによる排除

非正規労働化、縮小する労働

- 非正規労働化

高学歴で、派遣で、育休でも無給で、つなげない人が増えた(P会)

- 職住一体化した仕事の縮小

例) 地方の旅館やホテルの労働

- 慢性的人手不足、女性労働力への需要、寮付き
- 産業自体の縮小と労働力の再編も

風俗産業からの引力

- 寮(住む場所)がある、食いつなげる
 - 兼業から専業へ
 - 店舗型は厳しく
 - ホストクラブなどの吸引

「2か月のうちに寮つき
のソープに持ってかれ
た」(R会)

- 心身のリスク大
 - 40歳の壁

「カブキしかないから」
「カブキは家だから」
(P会)

- ワリキリで働く女性たちの100人調査(荻上2012)
 - 精神疾患: 病識あり30人(+自傷行為経験17人)
 - DV経験: あり33人

食いものにして
いたのが多様
化した(T会)

旅館・ホテルや風俗産業の従業員になって寮に入るパターンは、非組織・非定住の状況にあり、より不安定な労働力として社会に接合されている「都市下層」に至る人の流れの一つ(西澤2000)

女性であること

- 職場、家族や恋人、ホスト、客等の関係性のなかでの女性の低い位置、被支配、搾取

- 性の商品化、性暴力の対象に

「男性は孤立、女性は関係にがんじがらめ」
(M会)

- 子どもを産むということ

「性の危機と生の危機がいつも一体化している」
(P会)

ホームレスであること

- 職住一体化した仕事を転々
 - 風俗産業、宿泊業、パチンコ、ガードマン…
- 屋根のある人や場所を転々
 - 友人、恋人、客、ときに実家やフクシ…
 - ネットカフェ、カラオケ、ホテル、サウナ…

*「ハウジングプア」(稲葉2009)

- 貧困ゆえに居住権が侵害されやすい環境で起居せざるを得ない状態



- 安全・安心な場所がどこにもない
 - 物理的にも、心理的にも

「数か月を支える場所さえない」(P会)

4 おわりに

今後に向けてー聞き取りからー

「ボーダーの子たちへの
手立てを」

「支援者同士の横の連携を
つなぐコーディネーターが
必要」

「失敗する権利もあるのでは」

「一人で行政に行ってイヤ
になって帰ってくる。本当に
対応を考えて欲しい」

「入院助産の指定病院も減少
お金がない人が安心して産
める所がない」

「ハローワークも不動産も、
どうやるのかが分からな
い。よりそいが大切」

「母子生活支援施設への
ニーズはたくさんあるのに
入所ににくい」

「女の子が風俗をやめたいと
思った時にやめれる支援を」

「いっとき休む所、話を聞
いてもらえる場所が必要」

「女の子が役に立てる居
場所を作ることも大切」

「風俗で生き抜いてきた人
の過去を否定するべきでな
い」

今後に向けて

- 「・・・野宿や売春をしても、どのような自分でありたいのかを自由に想像し、それが尊重されるための領域を確保するよう取り組んでいくこと・・・」(丸山2013)
- 新規の消費の対象で終わらないように
 - 「ホームレス」→「ネットカフェ難民」→「派遣切り」→ 若年男性ホームレス → 若年女性アンダークラス → ……→…………
- 心の問題や自己責任論に回収されないように
 - 若者の困難は、心の問題にされがち
- 新たなラベリングにならないように
 - 欧米での「アンダークラス」概念は、強いラベリングに

引用文献

- 稲葉剛、2009『ハウジングプア——「住まいの貧困」と向き合う』山吹書店
- 岩田正美、2008『社会的排除——参加の欠如・不確かな帰属』有斐閣
- 川原恵子、2011「福祉施設利用に見る女性の貧困」『貧困研究』6
- 丸山里美、2013『女性ホームレスとして生きる——貧困と排除の社会学』世界思想社
- もやい、2011「<もやい>生活相談データ分析調査」
(<http://www.moyai.net/modules/d3blog/details.php?bid=1347/>) (2013,6,1ダウンロード)
- 西澤晃彦、2000「都市下層の可視化と変容」『寄せ場』13
- 荻上千キ、2012『彼女たちの売春——社会からの斥力、出会い系の引力』扶桑社
- 高橋亜美、2012「児童養護施設退所後に風俗で働く女性たち」『女たちの21世紀』72
- 湯浅誠、2008『反貧困——「すべり台社会」からの脱出』岩波書店

* 聞き取りにご協力くださった行政、社会福祉法人、NPO、個人の皆様に深く感謝いたします